

■米国：各州政府、PJM の容量市場改革案を否決した FERC へ再審理を要求

2018年7月31日の現地報道によると、6月29日に連邦エネルギー規制委員会（FERC）が米国北東部の系統運用者 PJM の容量市場の改革提案を否決し、再検討するよう命じた裁定に対して、PJM 管内のイリノイ州、ニュージャージー州、メリーランド州などの州政府は、市場参加者、環境支持団体などを伴って7月30日に FERC に再審理を要求した。原子力や再エネに対する州の助成制度が、容量市場の価格を不適切に低減させているとした FERC に対して、各州政府は PJM の容量市場では十分な予備力が確保できているため、価格の低減は発電設備が過剰であることによるものだと主張し、FERC による改革案の否決は、地域内の電源構成を管轄する州政府の権限を超えるもので、州政策を妨害していると訴えている。FERC は今後 30 日以内にこの再審理要求へ回答する予定である。